



Kabutoyama
Sinfonietta



SINFONIETTA
KABUTOYAMA

かぶとやま交響楽団

第61回定期演奏会

ウェーバー 歌劇「魔弾の射手」序曲

Carl Maria von Weber : "Der Freischutz" Overture

シューベルト 交響曲第4番 ハ短調 D.417 「悲劇的」

Franz Peter Schubert : Symphony No.4 in c minor D.417 "Tragic"

ドヴォルザーク 交響曲第9番 ホ短調 Op.95 「新世界より」

Antonin Dvorak : Symphony No.9 in e minor Op.95 "From the new world"

指揮：木下麻由加

2022年7月16日（土）開場13:30 開演14:00

伊丹アイフォニックホール メインホール

入場料 1,000円（全席自由）

※チケットはホールでの当日販売および[teket]でも取り扱います。

[teket] <https://teket.jp/2845/10476>



後援：西宮市、西宮市教育委員会、（公財）西宮市文化振興財団

主催：かぶとやま交響楽団

ホームページ：<https://kabukyo.com>

※未就学児児童をお連れのお客様は親子室をご利用ください。（予約不要）



©Ayane Shindo



木下麻由加 [指揮]

2010年神戸大学発達科学部人間表現学科卒業。

スカンジナビア・ニッポン・ササカワ財団より助成を受け、デンマークに留学。

2014年デンマーク王立音楽アカデミー指揮科卒業。

2012年及び2013年ウクライナ国際指揮マスタークラス修了。

修了演奏会にてチェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団を指揮し、ロシア音楽奨励賞を受賞。

2019年公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディションにて、山田貞夫音楽賞、特選、聴衆賞を受賞。

受賞者演奏会にてセントラル愛知交響楽団を指揮。

第14回橋本市文化奨励賞受賞。(2019年和歌山)

現在複数のオーケストラ、オペラ団体、吹奏楽団、弦楽合奏団の客演指揮及び合奏トレーナー、副指揮を務める。

また、C. Nielsenを中心とする北欧作曲家の研究をおこなっている。

指揮を齊田好男、高谷光信、J. Fuglebæk、N. Sukaci、

P. Larsen、ピアノを木下千代、伴奏法をN. Gade、

作曲法をA. Brødsgård、音楽理論をG. Larsen各氏に師事。



かぶとやま交響楽団

かぶとやま交響楽団は、1988年に阪神間の大学オーケストラ出身者が中心となり創設されました。特定の団体のOBオーケストラではなく、創設当初から多様な経歴のメンバーで構成されています。これまで伊丹アイフォニックホールや宝塚ベガホールを中心に多くの演奏会を開催し、「かぶ響(かぶきょう)」の愛称でも親しまれています。お互いの音を聴きあえる人数でのアンサンブル、奏者の息づかいまでも感じられるホールでの演奏会など、室内オーケストラのサイズを活かした、親密な音楽づくりを目指しています。

●新型コロナウイルス感染症の対応について●

会場では新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、

以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。また、出演者へのプレゼントはお預かり出来ません。ご了承ください。



会場内では常時マスクの着用をお願いします。



手洗い・消毒の励行にご協力ください。



平熱と比べ高い発熱がある場合や体調がすぐれない方はご来場をお控えください。



入場時・座席など、間隔を保っていただきますようお願いいたします。

<アクセス>



阪急伊丹駅より北へ徒歩約4分

JR伊丹駅より西へ徒歩約7分

駐車場あり。詳細は伊丹アイフォニックホールのホームページを参照ください。

※万が一公演が中止となる場合は、かぶとやま交響楽団の公式ホームページにてお知らせいたします。ご確認の上お越しください。

ホームページ：<https://kabukyo.com>

